

Dell™ 1909W フラットパネルモニタユーザーズガイド

[製品の特徴](#)


[モニタのセットアップ](#)


[モニタの操作](#)


[問題を解決する](#)

[付録](#)

注、注意、警告

 **注：** 注は、コンピュータをよりよく使いこなすための重要な情報を表します。

 **注意：** 注意は、指示に従わないとハードウェアが損傷したりデータが失われる危険があることを示しています。

 **警告：** 警告は、材質破損、身体の怪我、または死につながる可能性を示します。

本文書中の情報は、通知することなく変更することがあります。

© 2008-2010 Dell Inc. 複製を禁ず。

Dell社の書面による許可なしには、いかなる方法による複製も 厳禁します。

本テキストで使用した商標 *Dell*、*DELL* ロゴ、*Inspiron*、*Dell Precision*、*Dimension*、*OptiPlex*、*Latitude*、*PowerEdge*、*PowerVault*、*PowerApp* および *Dell OpenManage* は、Dell社の商標です。*Microsoft*、*Windows*、および *Windows NT*は、マイクロソフト社の登録商標です。*Adobe*はAdobe Systems社の商標で、一部の管轄区域で登録されていることがあります。*ENERGY STAR*は、米国環境保護省の登録商標です。*ENERGY STAR* パートナーとして、DELL社は、本製品がエネルギー効率に関して、*ENERGY STAR* ガイドラインに対応することを確認しました。

マークおよび名称を請求する団体またはその製品を参照するために、本文書中で、その他の商標および商号を使うことがあります。Dell社は、自社以外の商標および商号の所有権を放棄します。

Model 1909Wf 1909Wb

2010年 1月 Rev. A02

[目次ページに戻る](#)


モニターについて

Dell™ 1909Wフラットパネルモニター・ユーザーズガイド


- [パッケージの内容](#)
- [製品の特徴](#)
- [部品とコントロールの確認](#)
- [モニター仕様](#)
- [プラグ・アンド・プレイ機能](#)
- [ユニバーサル・シリアルバス \(USB\) インターフェース](#)
- [保守のガイドライン](#)


パッケージの内容

モニターには、以下に示すコンポーネント:がすべて付属しています。コンポーネント:がすべて揃っているかを確認し、コンポーネントが足りないときは[Dellにご連絡ください](#)。

 注:一部のアイテムはオプションで、モニターに付属していません。機能またはメディアには、特定の国で使用できないものもあります。

 注:OptiPlex™ USFF 780/ OptiPlex™ SFF 980 AIOスタンド付きをご購入の際、スタンドとケーブルは含まれません。

 注:それぞれのAIOスタンドにセットアップするには、それぞれのAIOスタンドガイドを参照してセットアップを行ってください。

	<ul style="list-style-type: none">● モニター
	<ul style="list-style-type: none">● スタンド



- 電源ケーブル



- VGAケーブル(モニターに接続)



- DVIケーブル



- USBアップストリームケーブル (モニターのUSBポートを有効にします)

	
	<ul style="list-style-type: none">● ドライバとマニュアルメディア● クイックセットアップガイド● 安全情報

製品の特徴

1909W フラットパネルディスプレイにはアクティブマトリックス、薄膜トランジスタ(TFT)、液晶ディスプレイ(LCD)が搭載されています。モニターの機能は、以下のようになっています。

- 19インチ(482.6 mm)表示可能領域のディスプレイ(対角で測定)。
- 1440x900解像度、低解像度の場合全画面もサポートしています。
- 広い表示角度により、座った位置からでも立った位置からでも、または横に動きながらでも見ることができます。
- チルト、スイベル、垂直引き伸ばし、回転調整機能。
- 取り外し可能台座とVESA(ビデオエレクトロニクス規格協会) 100 mm取り付け穴で柔軟な取付が可能。
- システムでサポートされている場合、プラグアンドプレイ機能。
- オンスクリーンディスプレイ(OSD)調整で、セットアップと画面の最適化が容易。
- ソフトウェアとマニュアルメディアには、情報ファイル(INF)、画像カラーマッチングファイル(ICM)、および製品マニュアルが含まれています。
- 省エネ機能 (エネルギースターに準拠)。
- セキュリティロックスロット。
- 資産管理対応。
- EPEAT™ GOLD準拠。

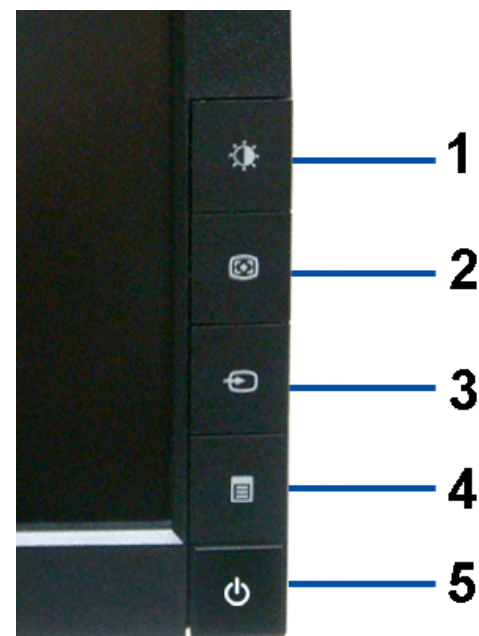
部品とコントロールの確認

正面図



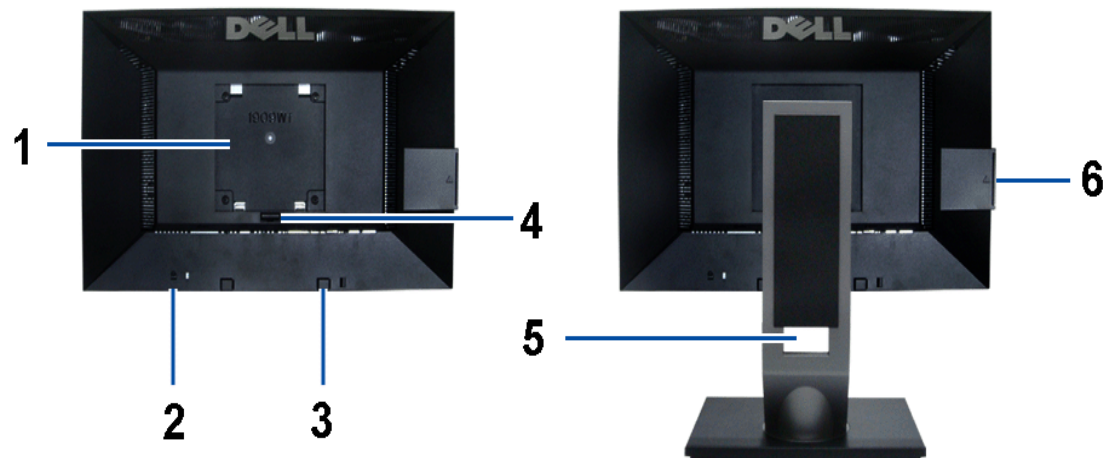
正面図

ラベル	説明
1	明るさとコントラスト
2	自動調整
3	入力ソースの選択
4	メニュー
5	電源 (パワーライトインジケータ付き)



前面パネルのコントロール

後方図



後方図

背面図(モニターのスタンド付き)

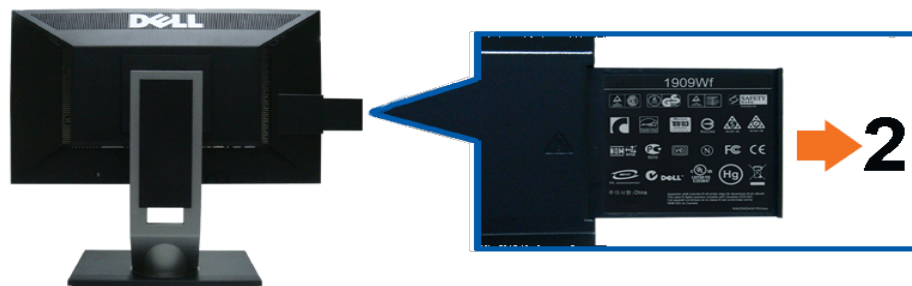
ラベル	説明	使用
1	VESA取り付け穴 (100mm) (接続されたベースプレートの背面)	モニターを取り付けます。
2	セキュリティロックスロット	モニターを盗難からお守りします。
3	Dellサウンドバー取付ブラケット	オプションの Dell サウンドバーを取り付ける。
4	スタンド取外しボタン	押して、スタンドを取り外します。
5	ケーブル管理スロット	スロットを通してケーブルを配置することで、ケーブルを整理します。
6	ラベルコンパートメント	表示ラベルを取り出すには

注意：プレートがUSBコンパートメントから取り外すと、規格付けラベルとバーコードシリアル番号ラベルが表れます。

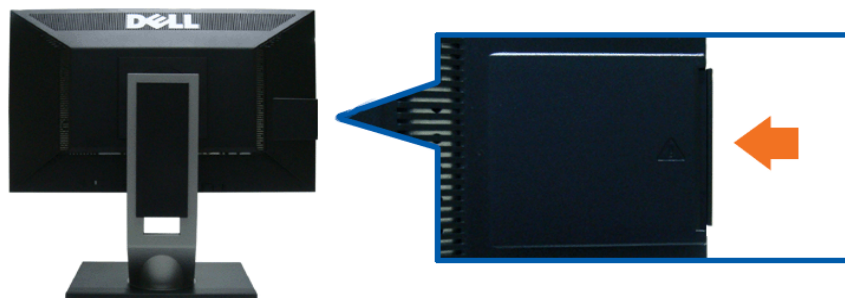
ラベル表示



プルアウトカードが引き出されているモニターの前面表示は、バーコードのシリアル番号のマークを示しています。



モニター背面のプルアウトカードが引き出された表示は、規制マークを示しています。



モニター背面のプルアウトカードが中に差し込まれた表示は、クリーンバック表示を示しています。

ラベル	説明	使用
1	バーコード・シリアル番号ラベル	技術サポートを受けるには Dell に連絡してください。
2	規制ラベル	規制承認を表示します。

注意：プレートがUSBコンパートメントから取り外すと、規制格付けラベルとバーコードシリアル番号ラベルが表れます。

側面図

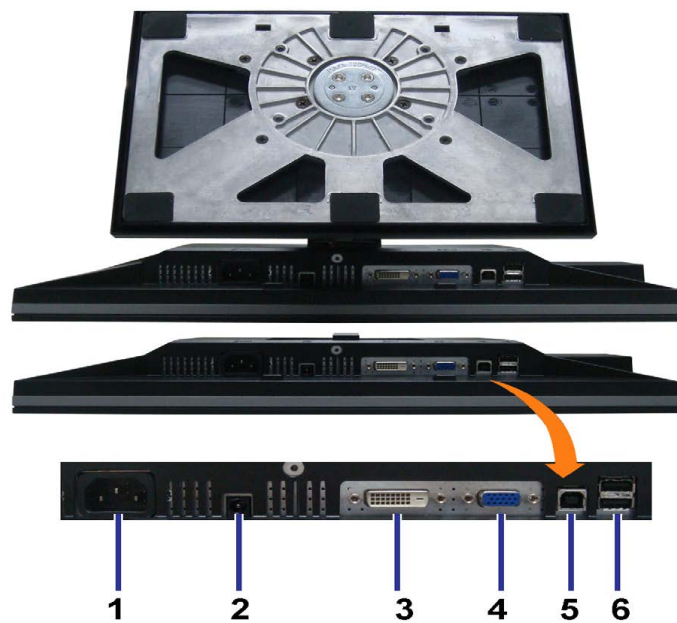


左側面図

右側面図

ラベル	説明
1	USB ダウンストリームポート

底面図



底部図

ラベル	説明
1	AC電源コードコネクタ
2	Dellサウンドバー電源コネクタ
3	DVIコネクタ
4	VGAコネクタ
5	USBアップストリームポート
6	USBダウンストリームポート

モニター仕様

フラットパネル仕様

スクリーン・タイプ	有効マトリックス - TFT LCD
パネルタイプ	TN
画面寸法	19インチ (19インチ表示可能画像サイズ)
事前設定ディスプレイ領域:	408.24(水平)X255.15(垂直)
水平	408.24 mm (16.08 in)
垂直	255.15 mm (10.05 in)

ピクセル・ピッチ	0.2835 mm
表示角度	160°(垂直) 標準、 160°(水平) 標準
ルミナンス出力	300 CD/m ² (標準)
コントラスト比	1000:1 (標準)
面板コーティング	ハードコーティング3Hでの遮光
バックライト	CCFL (2) エッジライト・システム
応答時間	5 ms標準
色域	83%*

* [1909W]の色域(標準)は、CIE 1976 (83%) およびCIE1931 (72%)テスト基準に基づいています。

解像度仕様

水平走査幅	30KHz～83HK z (自動)
垂直走査幅	56Hz～75Hz (自動)
事前設定の最適解像度	60Hzで1440 x 900
事前設定の最高解像度	60Hzで1440 x 900

ビデオのサポートモード

ビデオディスプレイ機能 (DVI再生)	480i/480p/576i/576p/720p/1080i/1080P (HDCPをサポート)
---------------------	--

事前設定ディスプレイ・モード

ディスプレイ・モード	水平周波数 (k Hz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセル・クロック (MHz)	同期極 (水平/垂直)
VESA、720 x 400	31.5	70.0	28.3	-/+
VESA、640 x 480	31.5	60.0	25.2	-/-
VESA、640 x 480	37.5	75.0	31.5	-/-
VESA、800 x 600	37.9	60.3	40	+/+
VESA、800 x 600	46.9	75.0	40	+/+
VESA、1024 x 768	48.4	60.0	65.0	-/-
VESA、1024 x 768	60.0	75.0	78.8	+/+
VESA、1152 x 864	67.5	75.0	108.0	+/+
VESA、1280 x 800	61.6	60.0	83.5	+/-
VESA、1280 x 1024	64.0	60.0	108.0	+/+
VESA、1280 x 1024	80.0	75.0	135.0	+/+
VESA、1440 x 900	56.0	60.0	106.0	-/+

電氣的仕様

ビデオ入力信号	アナログRGB、0.7ボルト +/- 5%、正電極が75オーム入力インピーダンス デジタル DVI-D TMDS、50オーム入力インピーダンスで各微分線、正電極に対し て600mV
同期入力信号	個別水平および垂直同期、電極フリーTTLレベル、SOG (複合同期オン・グリーン)
AC入力電圧/周波数/電流	100 ~ 240 VAC / 50 または 60 Hz ± 3 Hz/1.5A (最大)
インラッシュ電流	120 V: 30 A (最大) 240 V: 60 A (最大)

物理 特性

コネクタ・タイプ	15-pin D-subミニ、青コネクタ、DVI-D、白コネクタ
信号ケーブル・タイプ	デジタル: 取外可能、DVI-D、固定ピン、出荷時はモニターとは別 アナログ: 取外可能、D-sub、15ピン、出荷時はモニターに付属
寸法 (スタンド付き)	
高さ (圧縮)	12.39 in (314.68 mm)
高さ (拡張)	17.13 in (434.68 mm)

幅	17.45 in (442.87 mm)
奥行き	6.92 in (175.64 mm)
寸法 (スタンドなし)	
高さ	11.42 in (289.77 mm)
幅	17.45 in (442.87 mm)
奥行き	2.32 in (59.00 mm)
スタンド寸法	
高さ (圧縮)	9.48 in (240.80 mm)
高さ (拡張)	14.22 in (360.80 mm)
幅	9.85 in (249.92 mm)
奥行き	6.92 in (175.64 mm)
重量	
重さ (パッケージ含む)	6.40 kg
重さ(スタンド・アセンブリとケーブルを含む)	5.60 kg
重さ (スタンド・アセンブリなし) (壁取付またはVESA取付用 - ケーブルなし)	3.74 kg
スタンド・アセンブリの重さ	1.44 kgs

環境特性

温度	
運転時	5°~35°C (41°~95°F)
非運転時	ストレージ: -20°~ 60°C (-4°~ 140°F) 出荷時: -20°~ 60° C (-4°~ 140°F)
湿度	
運転時	10%~80% (結露しないこと)
非運転時	ストレージ: 5%~90% (結露しないこと) 輸送時: 5%~90% (結露しないこと)
高度	
運転時	3,657.60 m (365,760.00 cm) 最大
非運転時	12,192 m (40,000 ft) 最大
熱発散	256.08 BTU/時(最大) 119.50 BTU/時(標準)

電源管理モード

VESA DPMTM 準拠ディスプレイ・カードまたはPC上でインストールしたソフトウェアを使った場合、モニターは、未使用時に、自動的に電源消費の省力を行います。これを、「パワーセーブモード」*と呼びます。コンピュータがキーボード、マウス、またはその他の入力デバイスから入力を検出すると、モニターは自動的に機能を再開します。次の表は、この自動電源セーブ機能の電源消費と信号を表したものです：

VESA モード	水平同期	垂直同期	ビデオ	電源インジケータ	電源消費
通常運転	有効	有効	有効	青	25W (一般)
無効モード	無効	無効	空白	黄色	1W以下
スイッチを切る	-	-	-	オフ	1W以下

OSD は通常操作モードでのみ機能します。【メニュー】または【プラス】ボタンをアクティブオフモードで押すと、次のメッセージのどれかが表示されます。アナログ入力イン省電力モード。電源ボタン またはキーボードのどれかのキーを押すか、電源セーブモードでマウスまたはデジタル入力を動かします。コンピュータの電源ボタンまたはキーボードの任意のキーを押すかマウスを動かします

コンピュータとモニタをオンにして、**OSD**にアクセスします。

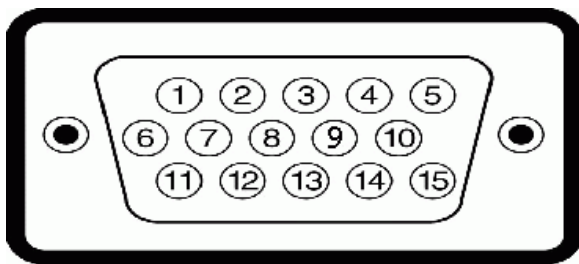


注：本モニターは、**ENERGY STARR**-準拠で、TCO '03 電源と互換性があります。

* オフモードでのゼロ電源消費は、モニターからのメインケーブルを外してはじめて、有効になります。

ピン割当

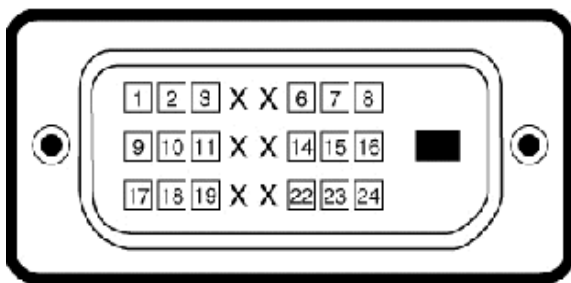
VGAコネクタ



ピン数	接続された信号ケーブルの15ピン側
1	ビデオ - 赤
2	ビデオ - 緑

3	ビデオ - 青
4	GND
5	自己診断テスト
6	GND-R
7	GND-G
8	GND-B
9	コンピュータ 5V/3.3V
10	GND-同期
11	GND
12	DDCデータ
13	H-同期
14	V-同期
15	DDCクロック

DVI コネクタ



ピン数	24-接続された信号ケーブルの24ピン側
1	TMDS RX2-
2	TMDS RX2+
3	TMDSアース
4	浮動
5	浮動
6	DDCクロック
7	DDCデータ
8	浮動
9	TMDS RX1-
10	TMDS RX1+
11	TMDSアース
12	浮動
13	浮動
14	+5V/+3.3V電源


15	自己診断テスト
16	ホットプラグ検出
17	TMDS RX0-
18	TMDS RX0+
19	TMDSアース
20	浮動
21	浮動
22	TMDSアース
23	DDCクロック +
24	DDCクロック -

プラグ・アンド・プレイ機能

プラグ・アンド・プレイ互換システムで、モニターをインストールすることができます。モニターがディスプレイ・データ・チャンネル (DDC) プロトコルを使って、コンピュータシステムに拡張ディスプレイ特定データ (EDID) を自動的に提供するため、システムが、自己設定により、モニター設定を最適化します。ほとんどのモニターインストールは自動で行われます。必要に応じて異なる設定を選択できます。モニター設定の変更の詳細については、[モニターの操作](#)を参照してください。

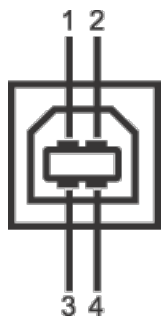
ユニバーサル・シリアルバス（**USB**）インターフェース

本項では、モニターの左側で使用できる**USB**ポートについて説明します。

 注：このモニターは、高速認定**USB2.0**インターフェースをサポートしています。

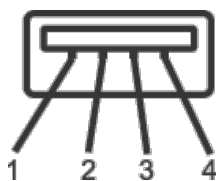
転送速度	データ率	電源消費
高速	480Mbps	2.5W（最大、各ポート）
全速度	12Mbps	2.5W（最大、各ポート）
低速度	1.5Mbps	2.5W（最大、各ポート）

USBアップストリームコネクタ



ピン数	4ピン(コネクタの側面に表示)
1	DMU
2	VCC
3	DPU
4	GND


USB ダウンストリームコネクタ




ピン数	信号ケーブルの4ピン側
1	VCC
2	DMD
3	DPD
4	GND

USB ポート

- 1アップストリーム - 後方
- 4ダウンストリーム - 後方に2つ、左側面に2つ

 **注：** USB 2.0機能にはUSB 2.0対応のコンピュータが必要です

 **注：** モニターのUSBインターフェイスは、モニターがオンのとき、または省電力モードに入っているときにのみ作動します。モニターをオフにしてから再びオンにすると、接続された周辺機器は数秒後に通常の機能を回復します。

LCDモニター品質とピクセルポリシー

LCDモニター製造プロセスの間に、1つ以上のピクセルが変わらない状態で固定されるのは珍しいことではありません。その結果、きわめて微細な黒い点や白く色落ちした点の固定ピクセルが表示されます。ほとんどすべての場合、これらの固定ピクセルはなかなか見えず、ディスプレイの品質や使い勝手を損ねることはありません。1～5の範囲の数の固定ピクセルは通常の状態、標準規格内に入っています。詳細については、**Dellサポート** (support.dell.com)を参照してください。

保守のガイドライン

モニターを洗淨する

 **警告：** モニターの洗淨前には、[安全のしおり](#)を読み、その指示に従ってください。

 **警告：** モニターの洗淨前には、電源コンセントからモニター電源ケーブルを外してください。

ベストプラクティスを実現するために、モニタを開梱、洗淨、または操作している間、以下のリストの指示に従ってください。

- 静電気防止スクリーンを洗淨するには、柔らかい、きれいな布を水で軽く湿らせてください。できれば、特殊スクリーン洗淨ティッシュまたは静電気防止コーティングに適して溶液を使用してください。ベンゼン、シンナー、アンモニア、研磨クリーナー、または圧縮空気は使用しないでください。
- ぬるま湯で軽く湿らせた布を使用して、モニターを洗淨します。合成洗剤によりモニターの乳白色のフィルムがはがれることがあるため、合成洗剤の使用は避けてください。
- モニターの梱包を開けている間に白いパウダーにお気づきになりましたら、布で拭き取ってください。
- 暗いプラスチックは、明るいモニターより白いカフマークを削り、表示するため、モニターの取扱には注意してください。
- モニターの画像品質を最高の状態に保つために、スクリーンセーバーを作動し、使用しないときはモニターの電源をオフにしてください。

[目次ページに戻る](#)


[目次ページに戻る](#)


モニターのセットアップ

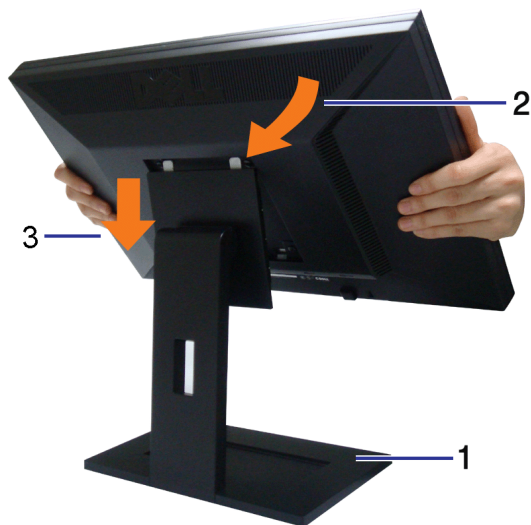
Dell™ 1909Wフラットパネルモニター・ユーザーズガイド

- [スタンドを取り付ける](#)
- [モニターを接続する](#)
- [ケーブルを調整する](#)
- [サウンドバーを取り付ける\(オプション\)](#)
- [スタンドを取り外す](#)

スタンドを取り付ける

 注：モニターを工場から出荷するときは、スタンドを取外します。

 注：これは、スタンド付きモニターに適用できます。OptiPlex™ USFF 780/ OptiPlex™ SFF 980 AIOスタンドのご購入時には、それぞれのAIOスタンドセットアップガイドを参照にしてセットアップを行ってください。



モニタースタンドを取り付けるには:

- 平らな面にスタンドを置いてください。
- モニター背面の溝をスタンド上部の2つのタブに合わせます。
- モニターの取り付け領域がパチッと留まるか、スタンドにロックされるまで、モニターを下げます。

モニターを接続する

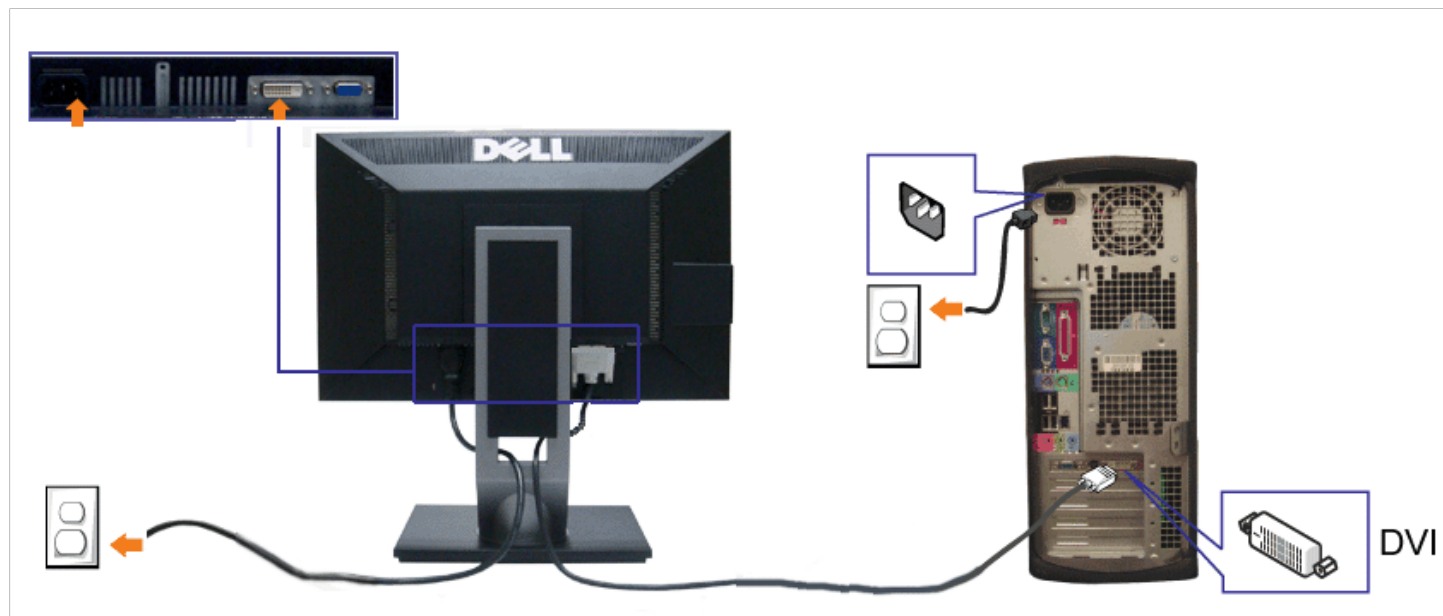
⚠ 警告：このセクションで手続きをはじめる前に、[安全指示書](#)に従ってください。

モニターをコンピュータに接続する：

□□□ コンピュータの電源をオフにして、電源ケーブルを外します。

□□□ 白い(デジタルDVI-D)または青い(アナログVGA)ディスプレイコネクタケーブルを、コンピュータ背面の対応するビデオポートに接続します。同じコンピュータに両方のケーブルを使用しないでください。両方のケーブルは、適切なビデオシステムを搭載した2つの異なるコンピュータに接続されているときのみ、使用するようにしてください。

白いDVIケーブルを接続する

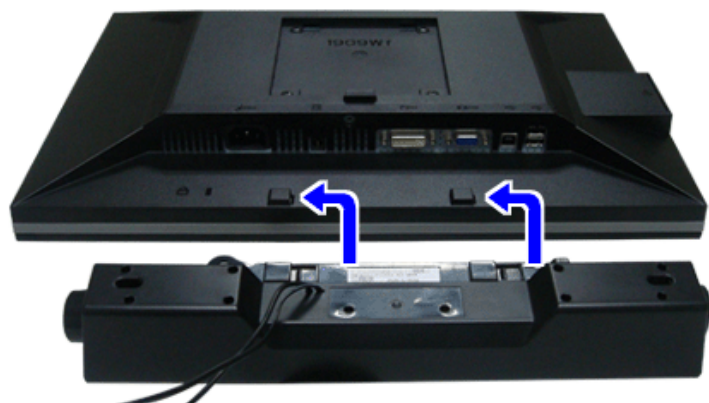


青いVGAケーブルを接続する



モニターおよびコンピュータに必要なケーブルすべてを取り付けた後、(ケーブルの取り付けについては、[モニターを接続する](#)を参照) 上記のとおり、ケーブル管理スロットを使って、すべてのケーブルを適切に調整します。

Del サウンドバーの取り付け





 **注意** : Dell サウンドバー以外のデバイスと一緒に使用しないでください。

 **注**: サウンドバーパワーコネクタ +12V DC 出力は、オプションのDellサウンドバー専用です。

1. モニター背面から、2つのスロットをモニター背面の下部沿いにある2つのタブに合わせながら、サウンドバーを取り付けます。
2. サウンドバーが所定の位置にはめ込まれるまで、サウンドバーを左側にスライドさせます。
3. サウンドバーをオーディオ電源DCアウトソケットに接続します (詳細は、[底面図](#)を参照)。
4. サウンドバー背面から出る黄緑色のミニステレオプラグを、コンピュータのオーディオ出力ジャックに挿入します

スタンドを取り外す

 **注** : 台を取り外している間にLCD画面に傷が付かないように、モニターは必ずきれいな面に置くようにしてください。

 注：これは、スタンド付きモニターに適用できません。OptiPlex™ USFF 780/ OptiPlex™ SFF 980 AIOスタンドのご購入時には、それぞれのAIOスタンドセットアップガイドを参照にしてセットアップを行ってください。



スタンドを取り外すには:

- スタンドを回転させて、スタンド解除ボタンにアクセスできるようにします。
- スタンドリリースボタンを押し下げます。
- スタンドを持ち上げ、モニターから離します。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

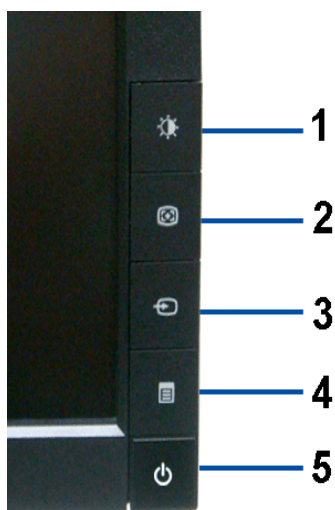
モニターの操作




Dell™ 1909Wフラットパネルモニター・ユーザーズガイド

- [前面パネルコントロールの使用](#)
- [オンスクリーンディスプレイ\(OSD\)メニューの使用](#)
- [最大解像度を設定する](#)
- [サウンドバー\(オプション\)を使う](#)
- [傾き、回転を使用する](#)
- [モニターの回転](#)
- [システムの「ディスプレイ回転設定」の調整](#)

正面パネルボタンを使う

モニター前面のコントロールボタンを使用して、表示されている画像の特性を調整します。これらのボタンを使用してコントロールを調整するとき、OSDが変更される特性の数値を示します。



正面パネルボタン	説明
A  明るさとコントラスト	このボタンを使って「明るさ/コントラスト」メニューに直接アクセスするか、選択したメニューオプションの値を増加します。
B  自動調整/上に調整	自動調整を使って自動セットアップ/調整を有効にするか、選択したメニューオプションの値を減少します。モニターが電流入力を自己調整するとき、黒スクリーン上に次のダイアログボックスが表示されます。 <div style="text-align: center; background-color: black; color: white; padding: 10px; margin: 10px 0;"> 自動調整中... </div> 自動調整を使って、モニターが入力ビデオ信号に対して自己調整できます。自動調整を使った後、画像設定の下でピクセル・クロック（粗い）、フェーズ（微調整）コントロールを使って、モニターをさらに調整できます。 <p>注意：自動調整は、有効ビデオ入力信号または付属ケーブルがない状態でボタンを押した場合には、発生しません。</p>
C  入力ソースの選択/下に調整	このボタンを使って入力ソースを選択するか、選択したメニューオプションの値を減少します。INPUT SOURCE(入力ソース)ボタンを使って、モニターに接続する、1つまたは2つの異なるビデオ信号を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ● VGA入力 ● DVI-D入力

	または	
	または	
<p>VGAまたはDVI-D入力が選択されているがVGAとDVI-Dケーブルが接続されていない場合、以下のような浮動ダイアログボックスが表示されます。</p>		
	または	
<p>メニュー</p>	<p>MENU(メニュー)ボタンを使用してオンスクリーンディスプレイ(OSD)を起動し、OSDメニューを選択します。 「メニューシステムにアクセスする」を参照してください。</p>	
<p>電源 (パワーライト インジケータ付 き)</p>	<p>電源ボタンを使って、モニターをオンおよびオフにします。 青のLEDは、モニターがオンで、完全に機能していることを表します。黄色のLEDは、DPMS電源セーブ・モードを表します。</p>	

オンスクリーンディスプレイ(OSD)メニューの使用

メニューシステムにアクセスする



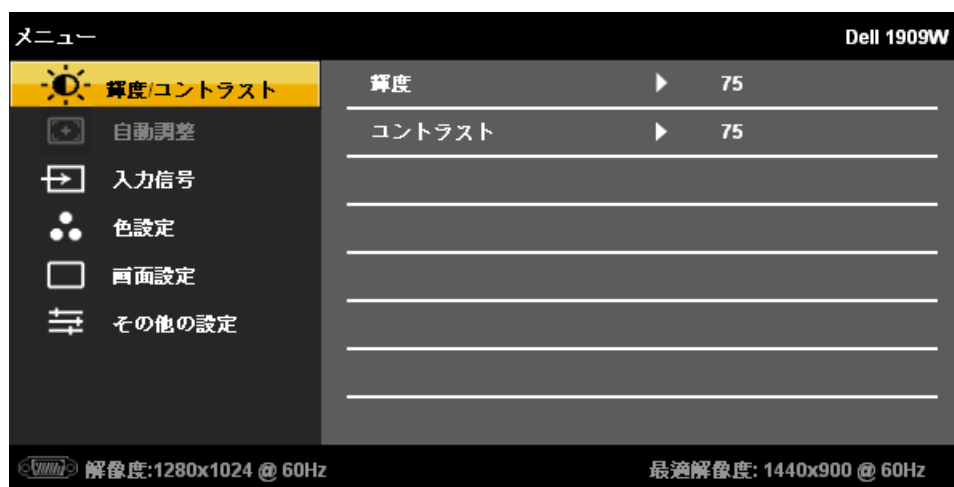
注：設定を変更し、別のメニューに進むか、またはOSDメニューを終了する場合、モニターは、その変更を自動的に保存します。変更は、設定を変更し、OSDメニューが消えるのを待つ場合も保存されます。

メニューボタンを押して、OSDメニューを開き、メインメニューを表示します。

アナログ (VGA) 入力用メインメニュー

または

DVI入力用メインメニュー



注：AUTO ADJUST (自動調整) は、アナログ (VGA) コネクタを使用しているときのみ、利用可能です。

2. および ボタンを押して、設定オプション間を移動します。アイコンからアイコンに移動するときに、オプション名をハイライトします。モニター用に利用できるすべてのオプションの完全リストは、下表を参照してください。

メニューボタンを一回押して、ハイライトされたオプションを有効にします。

4. および ボタンを押して、必要なパラメータを選択します。

5. メニューを押して、スライダーを入力し、次に、メニュー上のインジケータにしたがって、 および ボタンを使って、変更します。

6. 「メニュー/終了」オプションを選択してメインメニューに戻るか、OSDメニューを終了します。

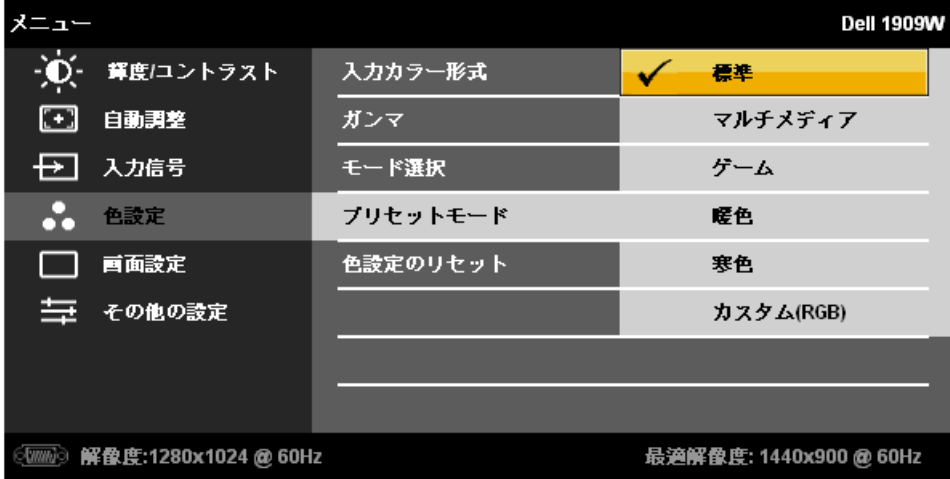
アイコン	メニュー および サブメニュー	説明
	明るさ および コントラスト	このメニューを使って、明るさ/コントラスト調整を有効にします。
明るさ		<p>明るさで、バックライトのルミナンスを調整します。</p> <p> ボタンを押して明るさを上げるか、 ボタンを押して明るさを下げます (最小0~最大100)。</p>

	<p>コントラスト</p> <p>まず、明るさを調整し、さらに調整する必要がある場合のみコントラストを調整します。</p> <p> ボタンを押してコントラストを上げるか、と  ボタンを押してコントラストを下げます（最小0～最大100）。「コントラスト」機能は、モニター画面の暗さと明るさの程度を調整します。</p>																		
	<p>自動調整</p> <p>コンピュータで、起動時にモニターを認識している場合でも、自動調整機能で、特定設定に使う表示設定を最適化できます。</p> <div data-bbox="235 388 1031 525" style="background-color: black; color: white; text-align: center; padding: 20px; font-size: 24px; font-weight: bold;">自動調整中...</div> <p>注: ほとんどの場合、自動調整で、設定に最適な画像が生成されます。 注意: AUTO ADJUST (自動調整) オプションは、アナログ (VGA) コネクタを使用しているときのみ、利用可能です。</p>																		
	<p>入力ソース</p> <p>INPUT SOURCE(入力ソース)メニューを使って、異なるビデオ信号の間でモニターに接続する信号を選択します。</p> <div data-bbox="235 682 1307 1155" style="background-color: #333; color: white; padding: 10px;"> <p style="text-align: right;">Dell 1909W</p> <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;"> 輝度/コントラスト</td> <td style="width: 70%;"><input checked="" type="checkbox"/> 自動調整</td> </tr> <tr> <td> 自動調整</td> <td>VGA </td> </tr> <tr> <td> 入力信号</td> <td>DVI-D </td> </tr> <tr> <td> 色設定</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 画面設定</td> <td></td> </tr> <tr> <td> その他の設定</td> <td></td> </tr> </table> <p style="font-size: 10px; margin-top: 10px;">解像度: 1280x1024 @ 60Hz 最適解像度: 1440x900 @ 60Hz</p> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">     </div> </div>	 輝度/コントラスト	<input checked="" type="checkbox"/> 自動調整	 自動調整	VGA 	 入力信号	DVI-D 	 色設定		 画面設定		 その他の設定							
 輝度/コントラスト	<input checked="" type="checkbox"/> 自動調整																		
 自動調整	VGA 																		
 入力信号	DVI-D 																		
 色設定																			
 画面設定																			
 その他の設定																			
	<p>自動選択</p> <p> を押して自動選択を選択すると、モニタはVGA入力またはDVI-D入力を自動的に検出します。</p>																		
	<p>VGA</p> <p>アナログ(VGA)コネクタを使用しているとき、VGA入力を選択します。  を押して、VGA入力ソースを選択します。</p>																		
	<p>DVI-D</p> <p>デジタル(DVI)コネクタを使っているときは、DVI-D入力を選択します。  を押して、DVI入力ソースを選択します。</p>																		
	<p>色設定</p> <p>Color Settings(色設定)を使って、色設定モードと色温度を調整します。 VGA/DVI-Dおよびビデオ入力の場合、さまざまな色設定サブメニューがあります。</p> <div data-bbox="235 1491 1307 1974" style="background-color: #333; color: white; padding: 10px;"> <p style="text-align: right;">Dell 1909W</p> <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;"> 輝度/コントラスト</td> <td style="width: 40%;">入力カラー形式</td> <td style="width: 30%;">▶ RGB</td> </tr> <tr> <td> 自動調整</td> <td>ガンマ</td> <td>▶ PC</td> </tr> <tr> <td> 入力信号</td> <td>モード選択</td> <td>▶ グラフィックス</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 色設定</td> <td>プリセットモード</td> <td>▶ 標準</td> </tr> <tr> <td> 画面設定</td> <td>色設定のリセット</td> <td></td> </tr> <tr> <td> その他の設定</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p style="font-size: 10px; margin-top: 10px;">解像度: 1280x1024 @ 60Hz 最適解像度: 1440x900 @ 60Hz</p> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">     </div> </div>	 輝度/コントラスト	入力カラー形式	▶ RGB	 自動調整	ガンマ	▶ PC	 入力信号	モード選択	▶ グラフィックス	<input checked="" type="checkbox"/> 色設定	プリセットモード	▶ 標準	 画面設定	色設定のリセット		 その他の設定		
 輝度/コントラスト	入力カラー形式	▶ RGB																	
 自動調整	ガンマ	▶ PC																	
 入力信号	モード選択	▶ グラフィックス																	
<input checked="" type="checkbox"/> 色設定	プリセットモード	▶ 標準																	
 画面設定	色設定のリセット																		
 その他の設定																			

入力色形式	モニタが VGA または DVI ケーブルを使用して PC または DVD に接続されている場合、RGB オプションを選択します。モニタがYPbPrケーブルによってDVDに接続されている場合はYPbPrオプション、YPbPrケーブルによってVGAに接続されている場合またはDVDカラー出力設定がRGBでない場合はDVIを選択します。
-------	--

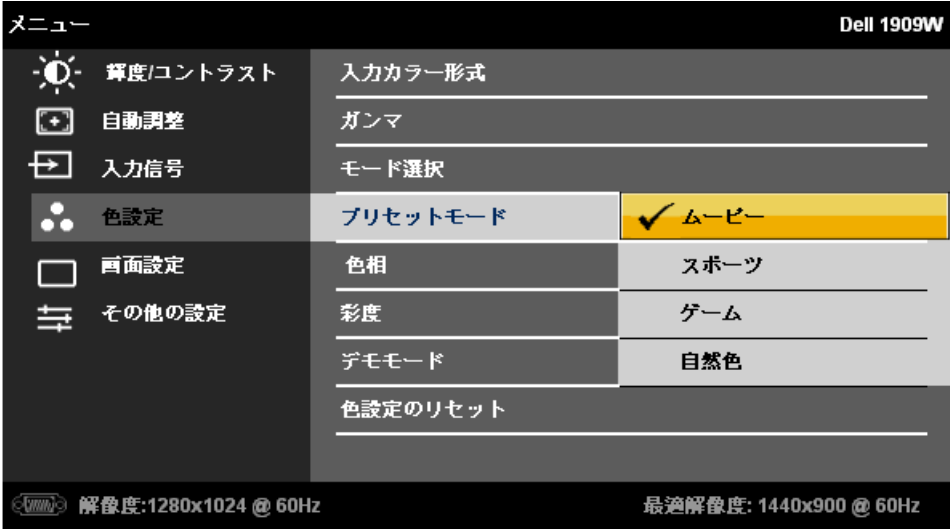
モード選択	信号入力に従って、グラフィックスまたはビデオを選択できます。PCをモニターに接続している場合、グラフィックスを選択してください。DVD、STBまたはVCRをモニターに接続している場合、ビデオを推奨します。
-------	--

プリセットモード	<p>グラフィックスを選択するとき、標準、マルチメディア、ゲーム、ウォーム、クール、またはカスタム(R,G,B)を選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> PCを介して写真やクリップなどのメディアアプリケーションを表示する場合、「マルチメディア」プリセットを選択してください。 PCでゲームをプレーする場合、「ゲーミング」プリセットを選択します。 低い色温度(5700K)がお好みの場合、「ウォーム」プリセットを選択してください。 高い色温度がお好みの場合、「クール」プリセットを選択してください。 カスタム(R,G,B)プリセットでは、6500K色の範囲を提供します。 パネルのネーティブカラーフォーマットを利用するには、「標準」を選択します。 赤い色合いを付けるにはウォームプリセットを選択します。この色設定は、色強度アプリケーション用に使用されます(写真イメージ編集、マルチメディア、ムービーなど)。 青い色合いを付けるには色プリセットを選択します。この色設定はテキストベースのアプリケーション(スプレッドシート、プログラミング、テキストエディタなど)で使用されます。 カスタムプリセットを選択して、0~100まで1桁ずつ、3色それぞれ(R、G、B)を増減します。
----------	--




ビデオを選択するとき、ムービー、ゲーム、スポーツ、またはネーチャープリセットを選択できます。

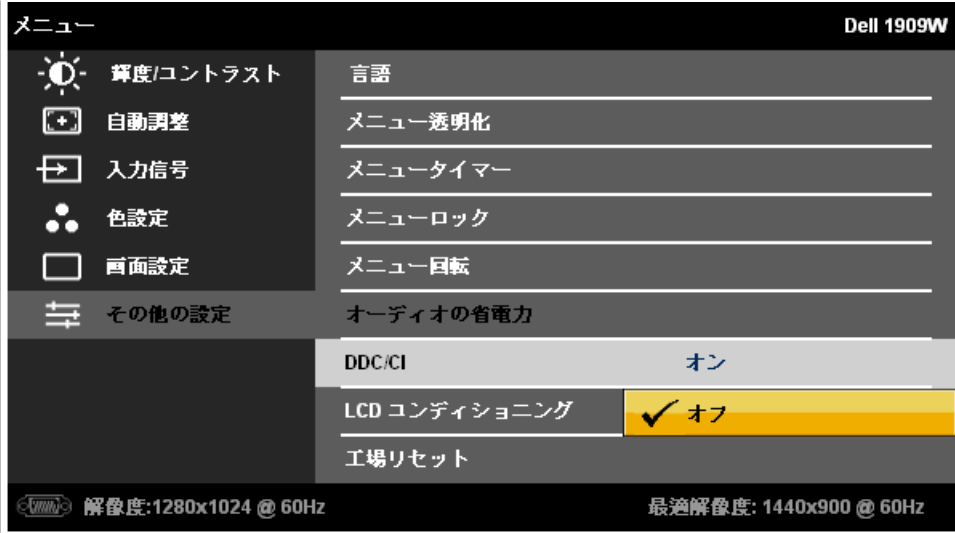
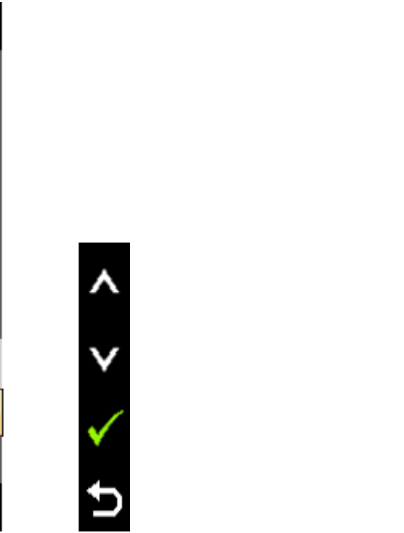
- ムービーを再生する場合、「ムービー」プリセットを選択します。
- スポーツプログラムをプレーする場合、「スポーツ」プリセットを選択します。
- ゲームをプレーする場合、「ゲーム」プリセットを選択します。
- 一般的な画像またはWebを表示する場合またはテレビを視聴する場合、「ネーチャー」プリセットを選択します。初期設定に基づき、「色合い」/「彩度」を調整することができます。既定値の色設定を復元する場合、「色リセット」を選択します。
- 「色リセット」プリセットを選択して既定(工場出荷時)の「色」設定を復元します。この設定は、sRGB標準デフォルト色スペースにもなります。



色合い	<p>この機能は、ビデオ画像の色を緑から紫にシフトします。これは、目的のフレッシュな色調に調整するために使用されます。この機能は、目的のフレッシュな色調に調整するために使用されます。この機能は、目的のフレッシュな色調に調整するために使用されます。</p> <p> または を使って、「0」から「100」まで色合いを調整します。</p> <p> を押すとビデオ画像の緑のシェードを増加します。</p>
-----	--

	 を押すとビデオ画像の紫のシェードが減少します。 注意： 色合いは、ビデオ入力の場合にのみ使用できます。
彩度	<p>この機能は、ビデオイメージの彩度を調整できます。  または  を使って、「0」から「100」まで彩度を調整します。</p> <p> を押すとビデオ画像の白黒の外観が増加します。</p> <p> を押すとビデオ画像のカラーの外観が減少します。</p> 注意： 彩度は、ビデオ入力の場合にのみ使用できます。
デモモード	色強化の効果を並べて表示するには
色設定のリセット	モニタの色設定を工場出荷時の設定にリセットします。
 表示設定	「表示設定」を使って画像を調整します。
	
ワイドモード	イメージ比を 4:3 または 全画面として調整します。
水平位置	 または  ボタンを使って、画像を左または右に調整します。最小値は「0」(-)です。最大値は「100」(+)です。
垂直位置	 または  ボタンを使って、画像を上または下に調整します。最小値は「0」(-)です。最大値は「100」(+)です。
シャープネス	この機能により、画像はシャープにまたはソフトに表示されます。使用  または  を使って、「0」から「100」までシャープネスを調整します。
ピクセルクロック	「フェーズ」および「ピクセルクロック」調整で、モニターをお好みにあわせ調整することができます。これらの設定は、「画像設定」を選択することで、メインOSDメニューからアクセスできます。  または  ボタンを使って、最高の画像品質になるように調整します。
フェーズ	フェーズ調整を使った結果がよくない場合、ピクセル・クロック（粗い）調整を使い、次にフェーズ（細かい）をもう一度使います。 注意： ピクセルクロックと位相調整は、「VGA」入力の場合のみ使用できます。
ディスプレイ設定のリセット	デフォルトのディスプレイ設定を復元するには、このオプションを選択します。
 その他の設定	このオプションを選択して、OSDの言語、メニューが画面に表示される時間など、OSDの設定を調整します。

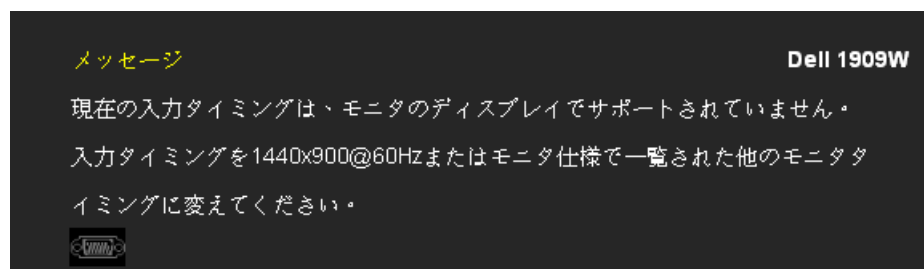
			
言語		<p>言語は7ヶ国語（英語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、ロシア語、簡体字中国語、日本語）のうち1つで表示を行うようにOSDディスプレイを設定できます。</p>	
メニューの透 明性		<p>このオプションを使用し、 または  を押してメニューの透明度を変更します（最小：0～最大：100）。</p>	
メニュー タイ マ		<p>OSDホールド時間 時間の長さを設定すると、OSDはボタンを最後に押した後に有効になります。  または  ボタンを使って、5～60秒までで、5秒ずつスライダーを調整します。</p>	
メ ニ ュ ー ロ ッ ク		<p>調整に対するユーザアクセスを管理します。[ロック]を選択した場合、ユーザ調整はできません。メニュー  ボタン以外は、ボタンはすべて、ロックされます。 注意：OSDがロックされている場合、メニューボタンを押すと、OSDロックを選択した状態で、ユーザは直接OSD設定メニューに進みます。[アンロック]を選択して、ロック解除して、ユーザは適用可能なすべての設定にアクセスできます。</p>	
メ ニ ュ ー の 回 転		<p>OSDを反時計回りに90°回転させます。 ディスプレイ回転に従ってメニューを調整できます。</p>	
パ ワ ー セ ー ブ オ ー デ ィ オ		<p>省電力モードの間、オーディオ電源をオンまたはオフにします。</p>	
DDC/ CI		<p>DDC/CI(ディスプレイデータチャンネル/コマンドインターフェイス)では、モニタのパラメータ(明るさ、色バランスなど)をコンピュータのソフトウェアを介して調整可能です。「無効」を選択することで、この機能を無効にできます。 モニタのユーザー体験を最高にし最適なパフォーマンスを達成するために、この機能は常に有効にしておいてください。</p> 	
LCDコ ン デ ィ シ ョ ニ ン グ		<p>画像リテンションにかかる負担を軽減できます。画像リテンションの程度に従って、プログラムの実行時間が変わります。「有効」を選択することで、この機能を有効にできます。</p>	

			
工場出荷時にリセット		OSD設定を工場出荷時事前設定値にリセットします。	

注意：本モニターには、CCFLエージングを補正するために、明るさを自動的に較正する機能が組み込まれています。

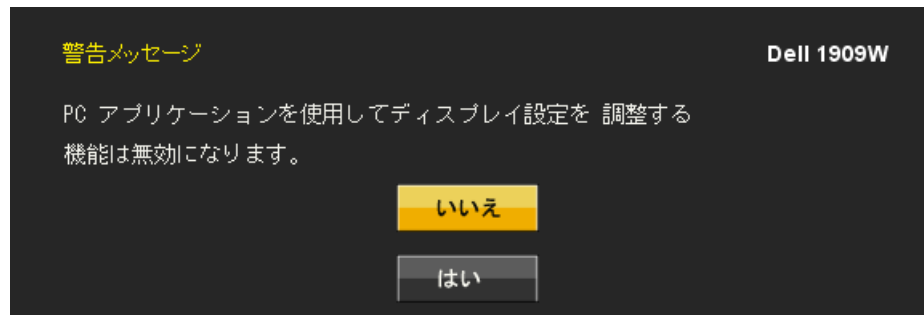
OSD警告メッセージ

モニタが特定の解像度モードをサポートしていないとき、次のメッセージが表示されます。



これは、モニターがコンピュータから受信している信号と同期できないことを意味します。このモニターが使用できる水平および垂直周波数幅については、[モニター仕様](#)を参照してください。推奨モードは、1440 X 900です。

DDC/CI機能が無効になる前に、次のメッセージが表示されます。



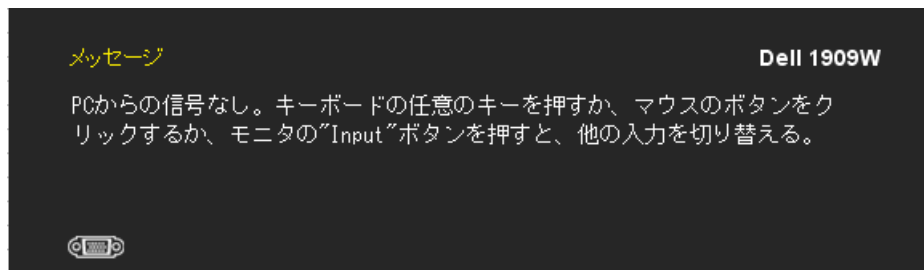
モニターが省電力モードに入ると、次のメッセージが表示されます。



コンピュータを有効にして、モニターを立ち上げ、[OSD](#)にアクセスします。

電源ボタン以外のボタンを押すと、選択した入力によって次のメッセージのどれかが表示されます。

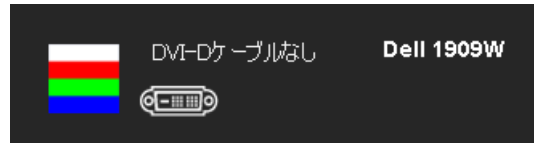
VGA/DVI-D 入力



VGAまたはDVI-D入力を選択されているがVGAとDVI-Dケーブルが接続されていない場合、以下のような浮動ダイアログボックスが表示されます。



または



詳細は、[問題を解決する](#)を参照してください。

最大解像度を設定する

モニターを最大の解像度に設定するには、Windows XPの場合:

- デスクトップを右クリックして、プロパティを選択します。
- 設定タブを選択します。
- 画面解像度を1440 x 900に設定します。
- OK**をクリックします。

Windows VistaまたはWindows 7の場合:

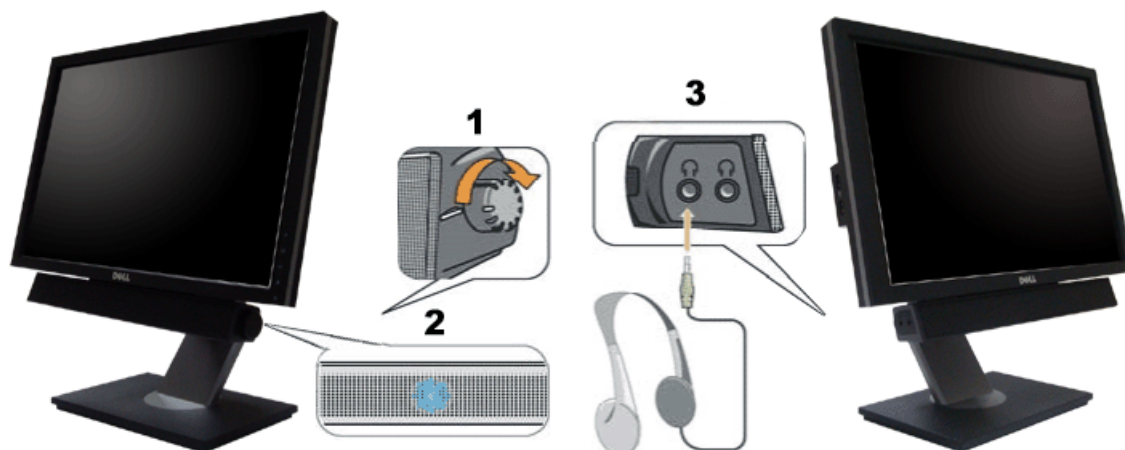
1. デスクトップを右クリックして、カスタマイズをクリックします。
2. 画面設定の変更をクリックします。
3. マウスの左ボタンを押し下げることによってスライダーを右に移動し、スクリーン解像度を **1440X900**に調整します。
4. **OK**をクリックします。

オプションとして1440 x 900がない場合は、グラフィック・ドライバを更新する必要があります。コンピュータによっては、以下の手順のいずれかを完了してください。

- Dellデスクトップまたはポータブル・コンピュータをご使用の場合。
 - support.dell.comに進み、サービス・タグを入力し、グラフィックス・カードに最新のドライバをダウンロードします。
- Dell以外のコンピュータ（ポータブルまたはデスクトップ）をお使いの場合：
 - コンピュータのサポートサイトに進み、最新のグラフィックス・ドライバをダウンロードします。
 - グラフィックス・カード・ウェブサイトに進み、最新のグラフィックス・ドライバをダウンロードします。

Dellサウンドバー（オプション）を使う

DellサウンドバーはDellフラットパネルディスプレイの取り付けに適した2つのチャンネルシステムから成っています。サウンドバーには全体システム・レベルを調整する回転音量とオン/オフ・コントロール、電源表示用の青のLEDおよびオーディオ・ヘッドセット・ジャック2つが搭載されています。



1. 電源/音量調節
2. 電源インジケータ
3. ヘッドフォン・コネクタ

傾き、回転を使用する

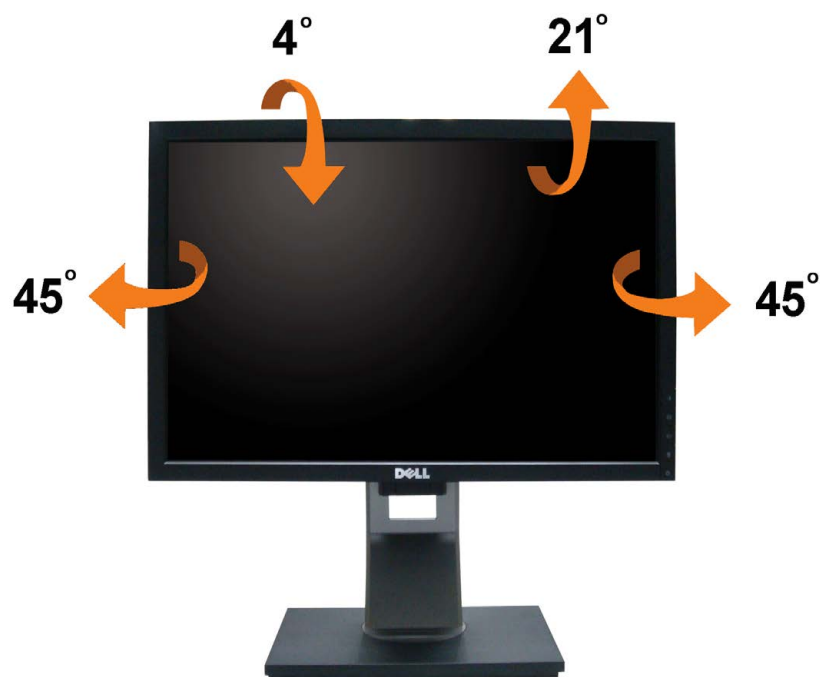



注：これは、スタンド付きモニターに適用できます。OptiPlex™ USFF 780/ OptiPlex™ SFF 980 AIOスタンドのご購入時には、それぞれのAIOスタンドセットアップガ

イドを参照にしてセットアップを行ってください。

傾き

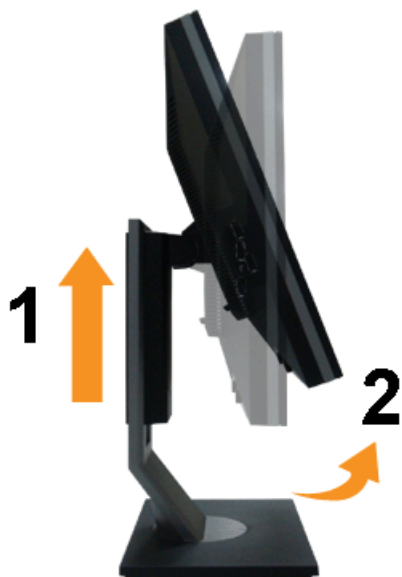
付属の台を使って、モニターをもっと見やすい角度に傾けることができます。

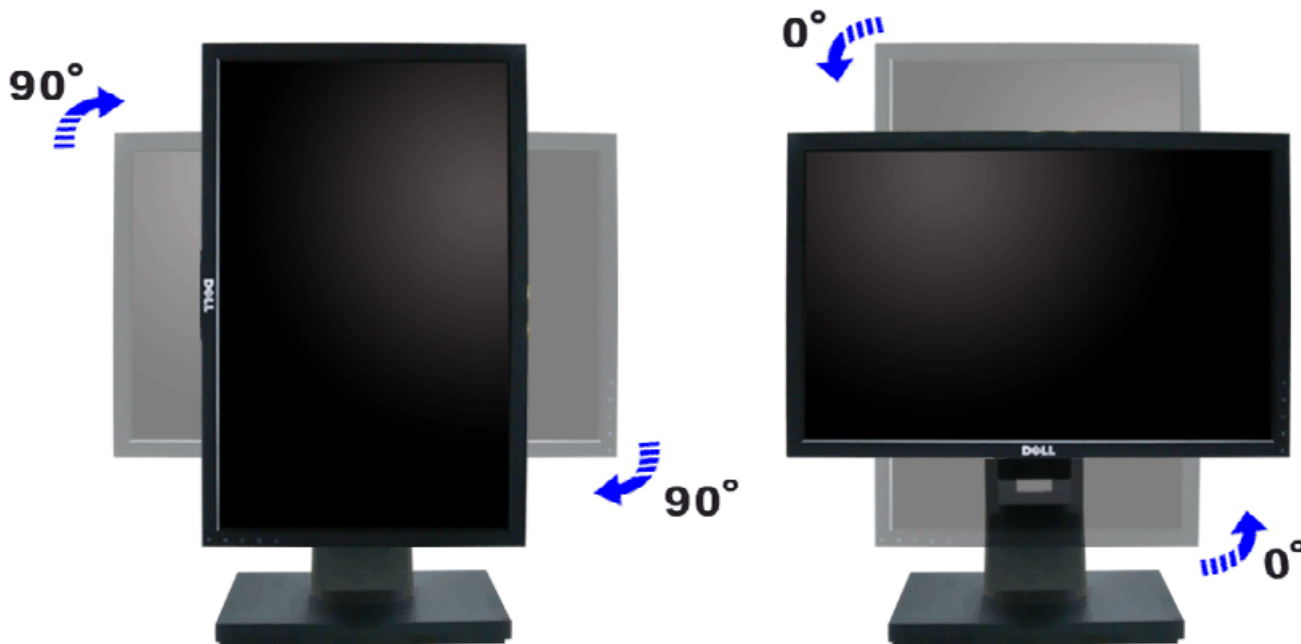



 注：モニターを工場から出荷するときは、スタンドを取外します。

モニターの回転

モニターを回転させる前に、モニターが垂直に拡張している ([垂直拡張](#))か、またはモニターの底部エッジの傾きを避けるために傾けてある ([傾き](#))かいずれかになっています。






 注： Dellコンピュータで「ディスプレイ回転」機能(横対縦表示)を使用するには、このモニターに含まれていない最新のグラフィックスドライバが必要です。最新のグラフィックスドライバをダウンロードして更新するには、support.dell.comに移動し、ビデオドライバのダウンロードセクションを参照してください。

 注： 縦表示モードに入っているとき、グラフィックを大量に使用するアプリケーション(3Dゲームなど)でパフォーマンスが落ちることがあります。

システムの「ディスプレイ回転設定」の調整

モニタを回転させた後、以下の手順でシステムの「ディスプレイの回転設定」を調整する必要があります。

 注： Dellコンピュータ以外でモニターを使用している場合、グラフィックス・ドライバのウェブサイトまたはお使いのコンピュータの製造元ウェブサイトに進み、オペレーティング・システムの回転についての情報を確認します。

ディスプレイの回転設定を調整するには：

- デスクトップを右クリックして、プロパティをクリックします。
- 設定タブを選択し、アドバンスをクリックします。
- ATIグラフィックスカードを使っている場合は、回転タブを選択して、お気に入りの回転を設定します。
nVidiaグラフィックスカードを使っている場合は、nVidiaタブをクリックして、左カラムで**NVRotate**を選択し、次にお気に入りの回転を選択します。
Intelグラフィックスカードを使っている場合は、Intelグラフィックス・タブを選択して、グラフィックス・プロパティをクリックし、回転タブを選択し、次にお気に入りの回転を設定します。

 注： 回転オプションがない場合、または正常に作動しない場合は、support.dell.comで、グラフィックス・カード用の最新ドライバをダウンロードしてください。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

トラブルシューティング

Dell™ 1909Wフラットパネルモニター

- [自己テスト](#)
- [よくある問題](#)
- [製品別の問題](#)
- [ユニバーサルシリアルバス固有の問題](#)
- [Dellサウンドバーの問題](#)

 **警告：** このセクションで手続きをはじめの前に、[安全指示書](#)に従ってください。

自己テスト

お使いのモニターには、自己テスト機能が装備され、適切に機能しているかどうかを確認できます。モニターとコンピュータが適切に接続されていて、モニタースクリーンが暗い場合は、次の手順でモニター自己テストを実行してください：


- コンピュータとモニター両方の電源をオフにする。
- コンピュータの後ろかビデオ・ケーブルを外す。自己テストが適切に運用できるようにするには、コンピュータの後ろからデジタル（白コネクタ）とアナログ（黒コネクタ）ケーブル両方を外します。
- モニターの電源をオンにする。

モニタがビデオ信号を検知できないが正しく作動している場合、画面に浮動ダイアログボックスが（黒い背景に）表示されます。自己テスト・モードでは、電源LEDが緑になります。また、選択した入力によって、下に表示されるダイアログの1つが画面上をスクロールし続けます。




- ビデオ・ケーブルが外されているか、または破損している場合、通常システムの運転中、このボックスが表示されます。
- モニターの電源をオフにして、ビデオ・ケーブルを再接続し、次にコンピュータとモニター両方の電源をオンにします。

前の手順を行った後もモニター・スクリーンに何も表示されない場合、モニターが適切に機能していないため、ビデオ・コントローラおよびコンピュータをチェックしてください。

 **注：** 自己テスト機能チェックは、Sビデオ、コンポジット、およびコンポーネントビデオモードに対しては使用できません。



内蔵診断


モニターには内蔵の診断ツールが付属しており、発生している画面の異常がモニターに固有の問題か、またはコンピュータやビデオカードに固有の問題かを判断します。


 **注：** 内蔵の診断は、ビデオケーブルがプラグから抜かれ、モニターが自己テストモードに入っているときのみ、実行できます。

内蔵診断を実行するには、以下の手順に従います。

- 画面がきれいであること（または、画面の表面に塵粒がないこと）を確認します。
- コンピュータの後ろかビデオ・ケーブルを外します。モニターが自己テストモードに入ります。

- 正面パネルの  と  ボタンを2秒間同時に押し続けます。グレイの画面が表示されます。
- 画面に異常がないか、慎重に検査します。

- 正面パネルの  ボタンを再び押します。画面の色が赤に変わります。
- ディスプレイに異常がないか、検査します。
- ステップ5と6を繰り返して、緑、青、白い色の画面についてもディスプレイを検査します。

白い画面が表示されると、テストは完了です。終了するには、 ボタンを再び押します。

内蔵の診断ツールを使用しているときに画面に異常が検出されない場合、モニターは適切に作動しています。ビデオカードとコンピュータをチェックしてください。

よくある問題

次の表には、発生する可能性のあるモニタのよくある問題と考えられる解決策に関する一般情報が含まれます。

一般的な症状	発生した問題	実行可能な解決策
--------	--------	----------

ビデオなし/電源LEDオフ	画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータにモニターを接続しているビデオケーブルが適切に接続され、しっかり固定されていることを確認します。 他の電気機器を使用して、コンセントが正しく機能していることを確認します。 電源ボタンが完全に押されていることを確認します。 入力ソース選択 ボタンによって、正しい入力ソースが選択されていることを確認します。
ビデオなし/電源LEDオフ	画像なし、または明るさがない	<ul style="list-style-type: none"> OSDによって、明るさとコントラスト・コントロールを増加します。 モニター自己診断テスト機能チェックを実行します。 ビデオケーブルコネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。 内蔵診断を実行します。
フォーカスが弱い	画像が不鮮明か、ぼやけているか、または薄れている。	<ul style="list-style-type: none"> OSDによって自動調整を実行します。 OSDによって、位相とピクセルクロック制御を調整してください。 ビデオ拡張ケーブルを外します。 モニタを工場出荷時設定にリセットします。 ビデオ解像度を正しいアスペクト比(16:10)に変更します。
ビデオが揺れたり/ずれたりする	画像が波打ったり、微妙にぶれる	<ul style="list-style-type: none"> OSDによって自動調整を実行します。 OSDによって、位相とピクセルクロック制御を調整してください。 モニタを工場出荷時設定にリセットします。 環境係数をチェックします。 モニタの場所を変えて、他の部屋でテストします。
ピクセルが抜けている	LCDスクリーンに点が入る	<ul style="list-style-type: none"> サイクル電源オン - オフ。 永久的にオフになっているピクセルがありますが、これはLCDテクノロジーに固有の欠陥です。 内蔵診断を実行します。
ドット落ち	LCDスクリーンに明るい点が入る	<ul style="list-style-type: none"> サイクル電源オン - オフ。 永久的にオフになっているピクセルがありますが、これはLCDテクノロジーに固有の欠陥です。 内蔵診断を実行します。
明るさの問題	画像が薄すぎるか、明るすぎる	<ul style="list-style-type: none"> モニタを工場出荷時設定にリセットします。 OSDによって自動調整を実行します。 OSDによって、明るさとコントラスト・コントロールを調整します。
幾何歪曲	スクリーンが正確にセンタリングされていない	<ul style="list-style-type: none"> モニタを工場出荷時設定にリセットします。 OSDによって自動調整を実行します。 OSDによって、明るさとコントラスト・コントロールを調整します。 <p>注意：「2: DVI-D」を使用しているとき、位置決め調整はご利用いただけません。</p>
水平/垂直ライン	スクリーンに複数の線が入る	<ul style="list-style-type: none"> モニタを工場出荷時設定にリセットします。 OSDによって自動調整を実行します。 OSDで、フェーズとピクセルクロックコントロールを調整します。 モニター自己テスト機能チェックを行い、これらの線が自己テスト・モードでも入るかどうかが確認します。 ビデオケーブルコネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。 内蔵診断を実行します。 <p>注意：「2: DVI-D」を使用しているとき、ピクセルクロックとフェーズ調整はご利用いただけません。</p>
同期化の問題	スクリーンがスクランブル状態か、磨り減って見える	<ul style="list-style-type: none"> モニタを工場出荷時設定にリセットします。 OSDによって自動調整を実行します。 OSDで、フェーズとピクセルクロックコントロールを調整します。 モニター自己テスト機能チェックを行い、スクランブル状態のスクリーンが自己テスト・モードでも入るかどうかが確認します。 ビデオケーブルコネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。 セーフモードでコンピュータを再起動します。
安全関連問題	スモークまたはスパークの明らかな症状	<ul style="list-style-type: none"> トラブルシューティング手順を実行しないでください。 直ちにDellにご連絡ください。
断続的問題	モニターの誤作動をオンおよびオフ	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータにモニターを接続しているビデオケーブルが適切に接続され、しっかり固定されていることを確認します。 モニタを工場出荷時設定にリセットします。 モニター自己テスト機能チェックを行い、断続的問題が自己テスト・モードでも発生するかどうかが確認します。
色が欠けている	画像の色が欠けている	<ul style="list-style-type: none"> モニター自己診断テスト機能チェックを実行します。 コンピュータにモニターを接続しているビデオケーブルが適切に接続され、しっかり固定されていることを確認します。 ビデオケーブルコネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。
色違い	画像の色が正しくない	<ul style="list-style-type: none"> 色設定OSDで、アプリケーションに応じて、色設定モードをグラフィックスまたはビデオに変更します。 色設定OSDで異なる色プリセット設定を試みます。色管理がオフになっている場合、色設定OSDでR/G/B値を調整します。 アドバンス設定OSDで、入力色形式をPC RGBまたはYPbPrに変更します。 内蔵診断を実行します。
長時間モニタに静止画像を表示したために起こる画像の焼き付き	表示された静止画像のかすかな影が画面に表示される	<ul style="list-style-type: none"> 使用していないとき、電源管理機能を使って、常にモニターの電源をオフにしてください(詳細については、電源管理モードを参照してください)。

または、動的に変わるスクリーンセーバーを使用します。

製品別の問題

特定の症状	発生した問題	実行可能な解決策
スクリーン画像が小さい	画像がスクリーン上でセンタリングされていないが、全表示領域を満たしていない	<ul style="list-style-type: none"> 画像設定OSDで、スケーリング比設定を確認します モニタを工場出荷時設定にリセットします。
正面パネル上のボタンで、モニターを調整できない	OSDがスクリーン上に表示されない	<ul style="list-style-type: none"> モニターの電源をオフにして、電源コードを外し、もう一度コードを差し、電源を入れます。
ユーザコントロールを押しても入力信号がない	画像が表示されず、LEDライトが緑になっている。「+」、「-」または「Menu(メニュー)」キーを押すと、「Sビデオ入力信号がありません」、「コンポジット入力信号がありません」または「コンポーネント入力信号がありません」というメッセージが表示される。	<ul style="list-style-type: none"> 信号ソースをチェックします。マウスを動かすかキーボードのどれかのキーを押して、コンピュータが省電力モードに入っていないことを確認します。 Sビデオ、コンポジットまたはコンポーネントへのビデオソースの電源がオンになっていてビデオメディアを再生していることを確認します。 信号ケーブルが正しく差し込まれているかどうかをチェックします。必要に応じて、信号ケーブルを差し込み直してください。 コンピュータまたはビデオプレーヤーを再起動します。
ピクチャが画面全体に表示されない。	ピクチャを画面の高さまたは幅いっぱいに表示できない。	<ul style="list-style-type: none"> DVDの異なるビデオ形式により、モニタが全画面で表示できないことがあります。 内蔵診断を実行します。

 注：DVI-Dモードを選択しているとき、自動調整機能は使用できません。

ユニバーサルシリアルバス(USB)固有の問題

特定の症状	発生した問題	実行可能な解決策
USBインターフェースが作動していない	USB周辺機器が作動していない	<ul style="list-style-type: none"> モニターの電源がオンになっているかを確認します。 アップストリーム・ケーブルをコンピュータに再接続します。 USB周辺機器(ダウンストリーム・コネクタ)を再接続します。 電源をオフにして、もう一度モニターをオンにします。 コンピュータを再起動します。 外付けポータブルHDDのような一部のUSBデバイスは、高い電流を必要とすることがあります。デバイスをコンピュータシステムに直接接続してください。
高速USB2.0インターフェースが遅い	高速USB2.0周辺機器が遅いか、まったく作動しない	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータがUSB2.0対応かどうかを確認します。 コンピュータの中には、USB 2.0とUSB 1.1ポートの両方を搭載しているものもあります。正しいUSBポートを使用されていることを確認してください。 アップストリーム・ケーブルをコンピュータに再接続します。 USB周辺機器(ダウンストリーム・コネクタ)を再接続します。 コンピュータを再起動します。

Dell™サウンドバーの問題

一般的な症状	発生した問題	実行可能な解決策
音が出ない	サウンドバーに電源が入らない - 電源インジケータがオフになっている	<ul style="list-style-type: none"> サウンドバーの電源/音量ノブを中間位置に対して時計回りに回します。サウンドバー正面の電源インジケータ(緑LED)が点灯するかどうかを確認します。 サウンドバーからの電源ケーブルがアダプタに差し込まれていることを確認します。
音が出ない	サウンドバーの電源が入っている - 電源インジケータがオンになっている	<ul style="list-style-type: none"> オーディオ・ラインイン・ケーブルをコンピュータのオーディオ・アウト・ジャックに差し込みます。 すべてのWindowsの音量コントロールを最大に設定します コンピュータでオーディオ・コンテンツをいくつか再生します(例.オーディオCDまたはMP3)。 サウンドバーの電源/音量ノブを高音量設定に対して時計回りに回します。 オーディオ・ライン・プラグを洗浄して、リセットします。 別のオーディオ・ソースを使って、サウンドバーをテストします(例.ポータブルCDプレイヤー)。
音が曲がっている	コンピュータのサウンドカードをオーディオ・ソースとして使います	<ul style="list-style-type: none"> サウンドバーとユーザの間の障害物を取り除きます。 オーディオ・ラインイン・プラグがサウンドカードのジャックに完全に差し込まれていることを確認します。 すべてのWindowsの音量コントロールを中間に設定します。 オーディオ・アプリケーションの音量を下げます。 サウンドバーの電源/音量ノブを低音量設定に対して反時計回りに回します。 オーディオ・ライン・プラグを洗浄して、リセットします。 コンピュータのサウンドカードのトラブルシューティング 別のオーディオ・ソースを使って、サウンドバーをテストします(例.ポータブルCDプレイヤー、MP3プレーヤー)。
音が曲がっている	その他のオーディオ・ソースを使います	<ul style="list-style-type: none"> サウンドバーとユーザの間の障害物を取り除きます。 オーディオ・ラインイン・プラグがサウンドカードのジャックに完全に差し込まれていることを確認します。 オーディオ・ソースの音量を下げます。

		<p>サウンドバーの電源/音量ノブを低音量設定に対して反時計回りに回します。</p> <ul style="list-style-type: none">オーディオ・ライン・プラグを洗浄して、リセットします。
音出力がアンバランス	サウンドバーの片側からだけ音が出る	<ul style="list-style-type: none">サウンドバーとユーザの間の障害物を取り除きます。オーディオ・ラインイン・プラグがサウンドカードまたはオーディオ・ソースのジャックに完全に差し込まれていることを確認します。すべてのWindowsオーディオ・バランス・コントロール (L-R) を中間に設定します。オーディオ・ライン・プラグを洗浄して、リセットします。コンピュータのサウンドカードのトラブルシューティング別のオーディオ・ソースを使って、サウンドバーをテストします (例: ポータブルCDプレイヤー)。
低音量	音量が低すぎる	<ul style="list-style-type: none">サウンドバーとユーザの間の障害物を取り除きます。サウンドバーの電源/音量ノブを最大音量設定に対して時計回りに回します。すべてのWindowsの音量コントロールを最大に設定します。オーディオ・アプリケーションの音量を上げます。別のオーディオ・ソースを使って、サウンドバーをテストします (例: ポータブルCDプレイヤー、MP3プレーヤー)。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

付録

Dell™ 1909W フラットパネルモニタユーザーズガイド

- [安全指示](#)
- [米国連邦通信委員会\(FCC\) 通告（米国内のみ） およびその他規制に関する情報](#)
- [Dellへのお問い合わせ](#)



警告：安全指示



警告:このマニュアルで指定された以外のコントロール、調整、または手順を使用すると、感電、電氣的障害、または機械的障害を招く結果となります

安全に関する注意事項については、製品情報ガイドを参照してください。

米国連邦通信委員会(FCC) 通告（米国内のみ） およびその他規制に関する情報

米国連邦通信委員会(FCC) 通告（米国内のみ） およびその他規制に関する情報に関しては、規制コンプライアンスに関するウェブページ http://www.dell.com/regulatory_compliance をご覧ください。

Dellへのお問い合わせ

米国のお客様の場合、**800-WWW-DELL (800-999-3355)**にお電話ください。



注: インターネット接続をアクティブにしていない場合、仕入送り状、パッキングスリップ、請求書、またはDell製品カタログで連絡先情報を調べることができません。

Dellでは、いくつかのオンラインおよび電話ベースのサポートとサービスオプションを提供しています。利用可能性は国と製品によって異なり、お客様の居住地域によってはご利用いただけません。Dellの販売、技術サポート、または顧客サービス問題に連絡するには:

1. support.dell.com にアクセスします。
2. ページ下部の **Choose A Country/Region** [国/地域の選択] ドロップダウンメニューで、居住する国または地域を確認します。
3. ページ左側の **Contact Us** [連絡先] をクリックします。
4. 必要に応じて、適切なサービスまたはサポートリンクを選択します。
5. ご自分に合った Dell への連絡方法を選択します。

[目次ページに戻る](#)

